

9月連合奈良の日 地域から平和を求め 核廃絶署名活動を展開！！

9月6日近鉄桜井駅で連合奈良の日の街宣活動を行いました。核兵器をめぐる状況は、米・口の冷戦後の核軍縮の柱であり、地上配備の中・短距離ミサイルの全廃、



更には米・口冷戦を終結させた、「中距離核戦力廃棄K条約」が本年8月に失効し、米・口の核軍拡競争が表面化し憂うべき事態となっています。

他方、2017年に122か国が署名し採択された核兵器禁止条約は、核兵器を非合法化した初めての国際条約です。この条約に対し日本政府は唯一の被爆国であるにも関わらず、米国の言いなりになり署名も拒み続け、核兵器廃絶に背を向けています。

こうした状況を変えるため、核兵器廃絶の署名活動を地



域から粘り強く展開していくことが必要です。

参加者：地協役員等14人 議員：松尾橿原市議、工藤桜井市議、辻本国民民主党第3区幹事長
合計17人 署名協力：38筆

『道普請 in 野迫川2019』

南和地協から5人が参加！！

9月7日～8日に奈良県で最も人口の少ない野迫川村で、世界遺産の熊野参詣道小辺路(こへじ)【全長67km】を守るための道普請が行われ、南和地協から5人が参加しました。

2011年の台風12号により、野迫川村を横断している小辺路が土砂崩れや倒木等により大きな被害を受け、その後も大雨などにより崩落や倒木があり、維持修理の道普請が行われてきました。



7日の出発式には、角谷野迫川村長も参加し歓迎の挨拶を受け参加者で道普請を行いました。夜には地元の人々との交流も行い有意義な社会貢献活動となりました。

橿原市長選挙

連合奈良は、9月22日の第9回執行委員会で現職の森下豊市長を推薦に、再選に向け取むことを決定しました。森下市長は労働運動に対して理解が深く、連合奈良の様ざま取り組みにも積極的に参加し、南和地協との政策協議も重ねています。

皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

告示日 10月20日(日)

投開票日 10月27日(日)